

後期基本計画 令和 2年度 政策方針書

政 策： 01 多様なつながりによって市民が行動しているまち

担当部長職・氏名	市民環境担当部長 齋藤 誠司
----------	----------------

1. 政策の実現状況を明らかにする

(1) 計画のビジョン（政策が実現できたときの状態）

	少子高齢化の進展や地域に対する意識が多様化する中であって、幸福を実感し安全・安心に暮らすために、市民一人一人が地域や行政とつながりを持ち、自身や地域のことを考え、行動し、地域づくりを進めるために多様なつながりによって、市民自らが行動しているまちをめざします。	
--	---	--

(2) 政策目標値の達成状況

No	政策目標指標	基準値	上：戦略目標見込値／下：達成値				目標値	進捗状況
		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和4年度	進捗率(%)
1	暮らし 地域活動に参加している人の割合 単位 %	50.7	53	55	58	60	60	-
			53.9	-	-	-	-	0.0
2	幸福 滝沢市で幸せに暮らしている人の割合 単位 %	60.1	64	68	71	75	75	-
			65.4	-	-	-	-	0.0
	単位							

(3) 政策を構成する基本施策及び目標値の達成状況

No	基本施策名 基本施策目標指標	基準値	上：戦略目標見込値／下：達成値				目標値	進捗状況
		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和4年度	進捗率(%)
1	暮らし 01010000 互いに認め合い誰もが活躍できる地域の実現 地域のお祭りや行事に参加した回数 単位 回	1.61	2.5	3	3.5	4	4	-
			1.61	-	-	-	-	0.0
2	幸福 01010000 互いに認め合い誰もが活躍できる地域の実現 滝沢市に愛着がある人の割合 単位 %	74.6	77	78	79	80	80	-
			69.2	-	-	-	-	0.0
3	暮らし 01020000 安全で安心できるまちづくり 災害に強いまちだと感じている人の割合 単位 %以上	52.1	52.1	52.1	52.1	52.1	52.1	-
			0	-	-	-	-	0.0
4	幸福 01020000 安全で安心できるまちづくり 子どもが安全に通学できると感じる人の割合 単位 %以上	65.8	65.8	65.8	65.8	65.8	65.8	-
			0	-	-	-	-	0.0
5	暮らし 01030000 環境に配慮するまちづくり 豊かな自然がたくさん残っていると思う人の割合 単位 %	76.2	77.9	79.6	81.3	83	83	-
			0	-	-	-	-	0.0
6	幸福 01030000 環境に配慮するまちづくり 地域清掃活動への参加者数 単位 人	18,526	19,895	21,263	22,632	24,000	24,000	-
			0	-	-	-	-	0.0

後期基本計画 令和 2年度 政策方針書

政 策：01 多様なつながりによって市民が行動しているまち

担当部長職・氏名

市民環境担当部長 齋藤 誠司

2. 政策の実現に向けての現状を認識する

(1) 政策目標の進捗状況分析

地域活動の組織化や活動の場は充実してきていますが、コミュニティ施設の老朽化や地域活動への参画の低下が課題となっています。地域づくり活動、地域防災、環境保全、ごみの減量などの地域活動への各支援が必要です。また市役所職員の世代交代による若年化が進んでいることから、地域支援の知識や経験の承継、新しい時代に対応できるスキルの取得が必要です。

(2) 政策の実現に影響する社会環境変化

特にも自然災害に対する安全・安心の確保のため、実践的な防災知識の普及啓発が必要です。また新型コロナウイルス感染症が世界的に拡大化・長期化している中で、地域防災力や消防力を安定的に維持することが必要です。

3. 政策の実現に向けての取り組みを決定する

(1) 政策の達成（実現）に向けた基本計画期間内の取り組みと方針

親切丁寧な窓口は、多くの市民とつながる身近な接点となるとともに、市民が安心して暮らすことのできる地域づくり、防災防犯、環境保全などの地域活動を支援し、その活動の輪が広がる環境づくりを推進します。

(2) 基本計画内の取り組みと方針のうち、令和 2年度の重点課題

- ・ 幸福感を育む地域づくりの根幹である後期の地域別計画の熟成を図り、市民主体による地域づくり活動を支援します。
- ・ 地域活動の拠点施設を活用した地域活動の支援と賑わいを創出します。
- ・ 地域防災リーダーの育成など地域防災力の強化や、交通死亡事故・悪質な犯罪の根絶を市民と連携し取り組みます。
- ・ 循環型社会構築への啓発や廃棄物の3R活動や適正処理を推進します。また、将来のごみ処理広域化に向けて関係市町と協議し、取り組みます。
- ・ 信頼と安心感を伝えるため適切で親切的窓口対応に取り組みます。

(3) 基本計画内方針及び令和 2年度重点課題に基づく優先順位の考え方

安全・安心に暮らすことのできる環境と地域づくりを推進するため、あらゆる世代の多様な意識に対応できるつながり方を地域とともに検討します。また、市民の生活が第一の考えのもと、地域とともに活動しその活動の輪が市民から地域に広がる施策の展開を基本方針とします。

その中で地域防災力の強化、廃棄物の3Rの推進、地域別計画の推進、ビッググループを活用した賑わいの創設を優先的に進めます。また、これらは本市及び県内における新型コロナウイルス感染症の発生状況を見極めて、適宜必要な措置を講じながら行います。

